第24期生の「卒業30周年集いの会」開催される

平成28年10月29日（土）栃木サンプラザにて、中麈輝美同窓会長、木村好成理事長をはじめたくさんの来賓、恩師、普通科11クラス、商業科３クラス、そして、会費（記念品代）のみの参加者を合わせて総勢２９４名の参加のもと、24期生の「卒業30周年集いの会」が盛大に開催された。

同窓会報 むらさき

発行者
國學院大學
栃木高等学校
同窓会
（〒328－8588）
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第40号

感謝を込めて

実行委員長　飯沼　邦章

会開催にあたり、関係者の皆様にご協力、ご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

さて、会運営にあたり、私たちに力をくれたのは三年間の高校生活を共にした仲間たちはもちろんですが、母校の後輩たちでした。同年七月、高校野球決勝戦、対作新学院、三十一年ぶりの甲子園出場をかけ後輩たちが挑みました。昭和六十年夏、当時我々は高校三年生です。集いの会開催の年に、甲子園初出場したあの夏を思い出させてくれ、惜敗しましたが、「挑む」ということは美しいことだと感じました。

同年六月、決勝戦前に、第一弾案内はがきを送った後に、各クラス幹事が各クラスの名簿を頼りに懐かしい同級生に連絡をとりました。三十一年ぶりの電話、会話です。本人と連絡がとれないケースも多く、「三十年」という月日にあるのは「生活、そして日常」でした。集いの会は挑戦だと、そんな時期に迎えたのが母校の決勝戦でした。

挑戦は三つ、それは集客、おもてなし、思い出づくりにしようと定めました。

集客…第二弾ご案内通知の中に、高校時代の写真等思い出をちりばめたチラシを作りました。このチラシを見て少しでも心が動き、一人でも多く足を運んでくれたら良いと。

おもてなし…集いの会当日、高校時代を集約したＤＶＤを流しました。参加者の皆さんが盛り上がって、最後はほろりとしてくれたら良いと。

思い出づくり…会場設営、会進行、まず事故がないように。司会は同級生に和やかに進むように。先生方への記念品にも知恵を絞り、同級生には当日流したＤＶＤを渡し、自宅に帰ってからも家族と笑ってほしいと。

集いの会とは、「当時を振り返るイベント」とネットには書いてありますが、もっと意義深いものであり、三十年間のそれぞれの生き様とこれからの生き方を確認するものかも知れません。

改めて、素晴らしい一日が過ごせたことに感謝し、母校同窓会、恩師、同級生の益々のご繁栄を祈念申し上げます。

また会える日を楽しみに、みなさん、どうかお元気で。

新たなる旅立ち

同窓会会長　中　磨　輝　美
日光二荒山神社権宮司
二期生

季節の移ろいの中に、今年も早同窓会報「むらさき」の発行の時期となってまいりました。時の流れが速く感じられるこの頃でありますが、会員の皆様方にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

母校も四月六日に第五十八回入学式が挙行され、新入生三五四名が大平台で高校生活に勤しむこととなりました。

また、川福基之校長先生が三月三十一日に校長職を退任され、学事顧問に専念されることとなり、後任の中学・高等学校長に四月一日付を以て、青木一男教頭先生が就任されました。青木先生は外国語教諭として昭和五十六年に奉職され、外国語科主任、中高一貫コース主任、普通科一類科長、副教頭、教頭を歴任、同窓会顧問に就任いただきました。教頭には平成元年に外国語科教諭として奉職された飯村友季子先生が就任されました。今後益々のご活躍を祈念致します。

さて同窓会も影山博元校長先生が五期生ということもあり、同窓会事務局長を務めていただきその運営に多大なるご尽力をいただいてまいりましたが、体調を崩され昨年退職されましたので、それに伴い今後の運営について事務局より相談があり、山縣（十一期）廣澤（十五期）両副会長を中心として、学校側とも協議を重ねていただき、本年度より新体制にて運営していくこととなり、本年六月十日に本校第一会議室で開催された、第五十五回同窓会総会に於いて承認されました。主な内容は、本部役員相談役に木村理事長先生、名誉会長に青木校長先生、顧問に飯村教頭先生にご就任いただき、新たに会長代行に山縣副会長、事務局長に廣澤副会長、事務局主任に横地先生、総務に山中さんにそれぞれ就任いただき今後同窓会の運営をしていくことになりましたので何卒ご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

同窓会の最も重要な行事であります「三十周年集いの会」も昨年は第二十四期生がサンプラザにおいて二二九名が参加して盛大に開催され、本年は第二十五期生が企画されているとの報告を受けておりますし、永吉奨学会につきましても順調に運営されておりますことを申し添えさせていただきます。

母校並びに同窓会発展のために会員の皆様方のさらなるお力添えを、切にお願い申し上げます。

ご挨拶

國學院大學栃木高等学校
学校長　青木　一男

本校も今春、五十八期生を迎えました。半世紀以上もの歴史を刻む中で、学園は短期大学、幼稚園、中学校と拡充し、施設面では近いところで四十周年記念館や教育センターが作られ、今年度中には人工芝のラグビーグラウンドと男子寮が完成する予定です。また、今年、ラグビー部女子が日本一に輝きましたが、バレーボール部、柔道部、ハンドボール部などいくつかの部が全国大会で常連となっています。そして学習指導においても、さらなる学力向上のための学習プログラムや学習環境を整え、東京大学や国立大の医学部等の難関の大学にも数多くの生徒が入学できるまでになりました。

このように進歩・発展を遂げてきた本校ですが、いかなる時代の変化があろうとも変わらないもの、それは初代学校長佐々木周二先生から歴代の学校長が継承してきた教育です。つまり、「たくましく　直く　明るく　さわやかに」の校訓にある人間像を理想として教育していくことなのです。例えば、人と会ったら「こんにちは」、人に親切にされたら「ありがとうございます」というような当たり前の挨拶や礼儀・作法、困っている人がいたらすぐに手を差し伸べるといった思いやり、そして何事にも全力で取り組む姿勢など、本校が行うあらゆる教育活動において、これからも何より大切にしていかなければならないものであると思っています。

そして、創立以来、本校教育の特長と言えば、「鍛える教育」です。鍛えるというと厳しさが思い浮かびますが、それは生徒一人ひとりの可能性を信じているからこそ鍛えるのであり、その厳しさは愛情に裏打ちされたものなのです。だからこそ本校を訪れる卒業生は後を絶たず、教師と生徒の絆の強さを感じます。そのような厳しいけれど温かく楽しいと思えるような学校であり続けるよう、三万五千人の同窓生がさらに誇りに思えるような学校にするよう頑張っていきたいと思います。

同窓会幹事会（総会）開催される

日時：平成29年６月10日（土）14：00～　場所：高校第一会議室

第５号議案

平成２９年度同窓会本部役員・事務局役員

相談役	木村　好成（理事長）			
名誉会長	青木　一男（校長）　※			
顧問	飯村友季子（教頭）　※			
〈本部役員〉				
会長	中鷹　輝美（　２期）			
副会長	仁戸部幸子（　１期）		田村　道彦（　４期）	
	増山　一夫（　５期）		佐藤　和男（　５期）	
	柏崎　和己（　７期）		長谷川　孝（　９期）	
	山縣　博司　会長代行（１１期）			
	廣澤造酒雄　事務局長（１５期）			
	大澤　光司（１７期）			
会計	星野　充江（１５期）		片岡　弘美（１６期）	
	西村　俊治（３０期）		海老沼信子（３１期）	
総務	山中日富美（２２期）※			
会計監査	荒川　浩幸（２１期）		山田　和美（２５期）※	
理事	佐藤　治雄（　４期）		福田　喜一（　６期）	
	加藤　春美（　７期）		神島　国治（　７期）	
	芹澤　玲子（１１期）		稲　寿　（１３期）	
	福島　洋二（１５期）		早乙女宣夫（１６期）	
	福島　正浩（１６期）		川島　正光（１７期）	
	高橋　俊一（１７期）		藪下　和弘（１７期）	
	若林　弘美（１７期）		藤山美恵子（１８期）	
	渡邉　俊夫（１８期）		鎌倉　博幸（１９期）	
	保戸山陽一（１９期）		五十嵐　健（２０期）	
	岩下　浩之（２１期）		斎藤　健　（２１期）	
	臼井　祥朗（２２期）		河田　匡夫（２２期）	
	増渕　宏和（２２期）		柳田　章芳（２３期）	
	飯沼　邦章（２４期）		北井　達也（２４期）	
	中村　亜紀（２５期）		岡部　秀幸（２６期）	
	須田　尚男（２８期）		小野　真　（２８期）	
	坂上　勇輔（２９期）		神山　拓之（２９期）	
	漆原　康史（３１期）		鵜野めぐみ（３９期）	
事務局				
主任	横地　夏彦（２４期）		※印は新任の方です	
副主任	菊元　靖　（２４期）			
	西村　俊治（３０期）		木村　圭佑（４１期）	
	綾川　史織（４５期）※		髙山　洋太（４６期）※	
	柳田真之介（４９期）※		塩谷　隼冬（５０期）	

幹事会（総会）は中鷹会長挨拶、木村理事長挨拶、青木校長挨拶と続き、出席者自己紹介の後、議事に入った。

議事は、会長を議長に廣澤副会長により昨年度の事業報告、海老沼会計より決算報告があり関連して荒川監査により会計監査報告を経て、承認された。

続いて、今年度の事業計画案、収支予算案が審議され、承認された。山縣副会長より本部役員に総務を新設し山中さんに、監査を山田さんに、事務局主任が横地先生に変更された説明があり、承認された。

その他で会長代行と事務局長の選任の報告、続いて二十五期生の「卒業三十周年集いの会」開催案内で会は滞りなく終了した。

５期生「卒業50周年の会」開催のおしらせ

日時　平成29年11月26日（日）12時30分から

場所　ホテルサンルート栃木

《 30年会費のお願い 》

毎年、30年集いの会を迎えた期の同窓生皆様に、30年会費納入のご協力をお願いしております。集いの会の翌年に、お願いの文書と振込用紙を「むらさき」に同封させて頂きます。今年度、集いの会開催の25期生には来年、24期生以前の皆様には今年送付でございます。（既にご協力頂いた方には送付いたしません）どうぞよろしくお願い申し上げます。

第13期生　還暦の会報告

平成二十九年二月十八日（土）にホテルサンルート栃木において、十三期卒業生の還暦の会を開催させていただきました。約百三十名の友が集い、七名の恩師に出席していただき盛大に開催しました。私たち卒業生が生まれたのは、昭和三十一年、「経済白書」の中で「もはや戦後ではない」と結ばれた年となっています。戦後の経済成長期に育ち、昭和・平成の荒波を乗り越え、気がついたらもう六十年がたっていました。平均寿命が延びた今日では還暦を迎えてもまだまだ現役で活躍している友も多く健康で若々しい友が集いました。今日、還暦は長寿のお祝いではなく「人生の区切りとして祝う」という意味が強いと感じます。また、そう感じられる友が多かったのも事実でした。恩師とも多くを語らい、友とも笑顔を交わし、すばらしい時を過しました。そして、さらなる長寿を祝い、再び会う約束をし、この意義ある還暦の会を閉会しました。

最後に、この意義ある還暦の会を開催させていただいた國學院大學栃木高等学校及び同窓会に感謝いたします。ありがとうございました。

十三期卒　栗原　清

今年度も全国大会への出場を懸けて、運動部が予選を戦っている。弓道部の他にも、多くの部活動で全国大会出場の吉報が届いている。本校の代表、栃木県の代表として全国に挑む選手たちの活躍を願いたい。

文化部の活躍

運動部の活躍が目立つ母校の部活動であるが、文化部も活躍している。今回はその一部を紹介する。

◆書道部

音楽に合わせて文字を書く「書道パフォーマンス」を文化祭や予餞会で披露する一方で、校外のイベントにも参加している。また、様々な大会に出品することで着実に実力をつけ、数多くの賞を受賞している。

◆天文部

特別教育館の屋上にある口径40㎝の反射望遠鏡を備えた天文台が活動の拠点。夜間観測や太陽観測を中心に日々活動している。文化祭で太陽活動等の研究発表のみならず、学会でもその成果が高く評価を受けている。

◆吹奏楽部

夏の野球応援、文化祭・体育祭・予餞会での演奏での他、校外では定期演奏会の開催、吹奏楽コンクールへの参加をはじめ、チャリティーコンサート、老人福祉施設への慰問など地域の演奏会にも積極的に参加している。

「もうひとつの甲子園」

母校野球部と青藍泰斗高校野球部ＯＢの協力で、特別試合「もうひとつの甲子園」が白鷗大学野球場で行われた。今年で二回目となる企画で、ベンチ登録メンバーから外れる可能性の高い三年生が試合に出場した。

部員数の多い私立高校にとっては、三年生でありながらもレギュラーになることは厳しく、夢を諦めざるを得ない現実も待ち受けている。普段付けることの少ない背番号を背負った三年生は、プレーヤーとしての高校野球の集大成に臨んだ。

試合は、二回に母校が先制し、その後は点の取り合いになったが、最終的に八対六で勝利を収めた。

両校の記念写真

活発な国際交流

●ドイツ　協定校交流

本校とドイツにあるマックス・プランク中等学校は平成二十六年四月十一日に交流協定を締結した。その後は一年おきに母校から生徒・教員がドイツを訪問してる。また平成二十八年三月には、マックス・プランク中等学校より生徒十七名・教員二名の計十九名が本校を訪れ、ホームステイや栃木・茨城県内等の観光を通して交流を深めた。

日光東照宮にて

●韓国　提携校交流

平成二十八年八月八日(月)から五日間、中学生高校生九名、引率教員二名の計十一名が韓国国際研修として韓国ソウルを訪れた。母校が提携している現地の漢陽女子大学の協力により、今回初めて実現したこのプログラムでは、漢陽大学や漢陽高校の生徒との交流やソウル市内観光、ホームステイ等が行われ、大変有意義な訪問となった。今後も定期的に開催される予定である。

伝統衣装を着て観光

●第十二回アメリカホームステイ

母校専任講師デビン・ケルソー先生主催のアメリカホームステイは、今年で十二回目を迎える。今年度は、中高校生十五名が参加予定でデビン先生の故郷であるアメリカのアイオワ州で、ホームステイプログラムが開催される。

ホストファミリーと共に

●ハワイ　国際研修

グローバルコース二年生二十七名、引率教員二名の計二十九名が、平成二十九年三月三日(金)から六日間、アメリカ合衆国ハワイ州で国際研修を行った。生徒はホームステイやハワイ大学の学生との班研修プログラム、カフク高校との文化交流など様々な経験を通して、英語力やコミュニケーション力に磨きをかけた。

現地カフク高校との交流

［デビン先生より］

Dear Ex-students,
Long time no see! I hope to see you again, either at Kokugakuin or in America!
I miss you,　Devin

会員だより

「魔法のくすり」

松永安優美　十一期生

原稿依頼を頂き、高校を卒業してはや44年がたっていることに愕然としてしまいました。私自身は高校時代とあまり変わっていない様な気がしていますし、同級生と会うとタイムスリップして楽しい気持ちになってしまいます。

私が医師を志望した理由はいくつかありますが、強い思いとなったのは高校時代でした。クラスメートの中には、「哲学が好き」「医学部希望」「ジャーナリストを目指す」「良い会社に勤めたい」等々、様々な夢を持っている友人が多くいて刺激を受けました。また高校入学と同時期に、空手道(剛柔流)の町道場に通い、その後入学した埼玉医大で空手部を創部。現在も運営する介護施設の夏まつりには、大学の後輩(学生)がボランティアで手伝いに来てくれています。さて医師となり大学病院に勤務し始めた研修医で、ボロ雑巾の様な(忙しく働いて)毎日を送っていた頃(現在では医師の労働環境著しく改善されていますが…。)忘れられない患者との出会いがありました。15才の愛らしい礼儀正しい少女で、受け持ちの医師が女性であったことが嬉しかった様子でした。診察を始めて、胸に聴診器をあてた時小さなしこりが数個、一瞬「はっ」としながら平常心を装おいましたが、癌のリンパ節転移の可能性がありました。入院して3日目の未明に痛い検査にも耐えていた我慢強い少女が大声で腹部の痛みを訴えていました。緊急手術で判ったことは、年齢的にも考えられない腹部臓器全体に広がった癌でした。希な症例であり初めての看取りを経験することになりました。…魔法のくすりが欲しい…。心の底から思いました。

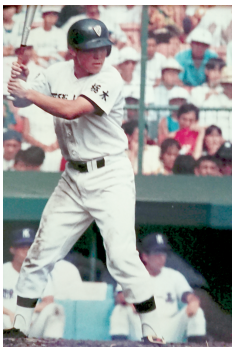
その後常に救命を考えながら仕事をして来た中で解って来たことがあります。

・医学は進歩しているものの万能ではないということ。
・病気は人を選ばず、人も病気を選べないということ。
・覚悟を持って救い続けながら愛情を持って寄り添うということが必要であるということです。

現在、医療・福祉・介護施設等9施設を運営させて頂いて、経営のむずかしさも感じているこの頃です。故坂本先生を始め先生方の教えに、ただただ感謝です。最後にボランティアで作詩作曲してCD化した「とち介あったか音頭」をご存知の方は、楽しく歌って頂ければ幸いです。

「環境が人を育てる」

古後昌彦　二十四期生



まずはこのような機会を頂きましたこと、心より感謝致します。

今回は「今だからこそ思うこと」をテーマとしてお話ししたいと思います。

私は茨城の田舎から栃木の都会へ、高校時代は硬式野球部に三年間籍を置き、仲間のお蔭で甲子園にも出場させて頂きました。

当時、勉強に関しては学年で二位の成績（下から）。早弁、昼寝を日課とし、多くの先生方には温かいご指導を頂きまして、本当にありがとうございました。また大変お世話になりました。

私が現在行っている仕事は「人材ビジネス業」です。この事業に出会い、社会の構図を内側から学ぶことが出来たと同時に、「お客様ニーズ」と「労働者側の考え」の双方を知ることにより、事業の社会的重要性を感じました。

一生をかけて成し遂げるべき事業として二〇〇一年に会社を設立し、現在進行形として、まだまだ理想に向けて事業を追求している道の途中です。

人は誰でも得意・不得意があり、大切な個性があり、助け合い支え合うことにより社会は成り立っているのだと思います。

一人ひとり気付かぬ内に、自然と役割を担っていると思うのです。そのことに気付くキッカケは、國學院大學栃木高校の硬式野球部に身を置く「環境」を頂いたことであり、今思うと私の考え方の原点であると感じています。

野球も上手くなりましたが、それ以上に「人」として大切な人間形成を学ばせて頂いたと思っております。

会社設立時に掲げた「理念」の中に、「環境が人を育てる」の言葉があります。特別な研修や教育よりも日々身を置く環境こそが最も重要であると…

國栃野球部で学んだ三年間、その後の先輩や同期・後輩との繋がり、全てに人間力を学ぶ上での環境を与えて頂いていたことに感謝しています。

今も國栃野球部で学んだ「全員野球」の精神（組織力そして人間力）を胸に、大勢の同じ熱き想いを持つ仲間と共に、社会的大義のある事業に、これからも「挑戦」して行きます。

※私が現在大勢の仲間と挑戦している事業として、
人材総合プロデュース企業の「エイジェック・グループ」
そして國栃野球部卒業生が陣頭指揮をとり進めているもう一つのプロ野球「栃木県民球団」栃木ゴールデンブレーブス。(ＨＰを覗いてみて下さい。)
エイジェックグループ
http://www.agekke.co.jp/
栃木ゴールデンブレーブス
http://tochigi-braves.jp/
応援の程、宜しくお願い致します。

第2号議案

平成28年度同窓会一般会計収支決算

収入の部　（単位：円）

項目		決算額	予算額	比較増△減額	備考
前年度繰越金		1,469,389	479,389	990,000	27年度次年度繰越金479,389円と27年度足利銀行残高相違分990,000円を含めてあります
会費	入会金(本年度卒業生)	1,058,000	1,060,000	△ 2,000	2,000円×529名
	30年会費(本年度卒業生)	13,225,000	13,250,000	△ 25,000	25,000円×529名
	30年会費(既卒者)	1,040,000	1,000,000	40,000	20,000円×52名
	年会費(既卒者)	108,000	100,000	8,000	2,000円×54名(延人数)
基金会計より繰り入れ		0	0	0	
雑収入		154,939	80,611	74,328	銀行利子4,939円・マフラータオル代140,000円(700円×200本)等
合計		17,055,328	15,970,000	1,085,328	

支出の部　（単位：円）

項目		決算額	予算額	比較増△減額	備考
運営費	印刷費	73,768	100,000	△ 26,232	
	通信費	2,272,610	2,500,000	△ 227,390	会報送料他
	消耗品費	156,609	200,000	△ 43,391	事務用品・ﾌﾟﾘﾝﾀｲﾝｸ他
	支払手数料	17,908	0	17,908	振込手数料他
	公租公課	200	0	200	収入印紙
	会議費	137,747	500,000	△ 362,253	総会・本部役員会
事業費	会報発行費	302,400	500,000	△ 197,600	
	学園助成費	3,000,000	3,000,000	0	
	30年集い・還暦の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	360,000	600,000	△ 240,000	10,000円×4ｸﾗｽ・20,000円×16ｸﾗｽ
	補助費	723,670	1,800,000	△ 1,076,330	OB会主催中学生剣道大会・文化祭補助・永年勤続者記念 他
	記念品費	1,268,330	2,000,000	△ 731,670	卒業記念品
渉外費	渉外費	0	300,000	△ 300,000	
	広告費	333,080	300,000	33,080	ｹｰﾌﾞﾙTV・部活など
福利厚生費		0	200,000	△ 200,000	
慶弔費	弔慰金	0	200,000	△ 200,000	
	見舞金	10,000	20,000	△ 10,000	
	通信費	0	20,000	△ 20,000	
積立金	基金会計繰入金	0	2,000,000	△ 2,000,000	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	同窓会創立60周年記念事業積立金	4,000,000	0	4,000,000	
	高校創立60周年記念事業積立金	2,000,000	0	2,000,000	
予備費		0	385,000	△ 385,000	
次年度繰越金		1,299,006	245,000	1,054,006	
合計		17,055,328	15,970,000	1,085,328	

総収入額　17,055,328 円
総支出額　15,756,322 円
差引残高　1,299,006 円

第4号議案

平成29年度同窓会一般会計収支予算

収入の部　（単位：円）

項目		予算額	前年度予算額	比較増△減額	備考
前年度繰越金		1,299,006	479,389	819,617	
会費	入会金(本年度卒業生)	980,000	1,060,000	△ 80,000	2,000円×490名
	30年会費(本年度卒業生)	12,250,000	13,250,000	△ 1,000,000	25,000円×490名
	30年会費(既卒者)	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50名
	年会費(既卒者)	100,000	100,000	0	2,000円×50名
基金会計より繰り入れ		0	0	0	
雑収入		10,994	80,611	△ 69,617	
合計		15,640,000	15,970,000	△ 330,000	

支出の部　（単位：円）

項目		予算額	前年度予算額	比較増△減額	備考
運営費	印刷費	100,000	100,000	0	
	通信費	2,300,000	2,500,000	△ 200,000	会報送料他
	消耗品費	200,000	200,000	0	事務用品・ﾌﾟﾘﾝﾀｲﾝｸ他
	支払手数料	20,000	0	20,000	振込手数料など
	公租公課	1,000	0	1,000	収入印紙
	会議費	500,000	500,000	0	総会・本部役員会・四役会
事業費	会報発行費	500,000	500,000	0	
	学園助成費	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	30年集い・還暦の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	600,000	600,000	0	20,000円×30ｸﾗｽ
	補助費	1,000,000	1,800,000	△ 800,000	
	記念品費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	卒業記念品
渉外費	渉外費	0	300,000	△ 300,000	
	広告費・広報費	1,000,000	300,000	700,000	ｹｰﾌﾞﾙTV・部活など
福利厚生費		0	200,000	△ 200,000	
慶弔費	弔慰金	50,000	200,000	△ 150,000	
	見舞金	20,000	20,000	0	
	通信費	20,000	20,000	0	
積立金	基金会計繰入金	0	2,000,000	△ 2,000,000	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	同窓会創立60周年記念事業積立金	2,000,000	0	2,000,000	
	高校創立60周年記念事業積立金	3,000,000	0	3,000,000	
予備費		1,500,000	385,000	1,115,000	
次年度繰越金		229,000	245,000	△ 16,000	
合計		15,640,000	15,970,000	△ 330,000	

《会費納入者芳名》

【平成二十八年度分】

氏名上の数字は卒業期（　）内は旧姓

二万円
2 舘野喜房
3 永島國治
3 村上登
4 岡本清子(菊池)
4 小野寺榮
4 佐藤治雄
4 三澤富雄
5 市村治世(古川)
5 中山一夫(大島)
7 小林廣幸
7 畑敏
7 前澤知恵子
7 森礼子(飯田)
10 石田早苗(竹村)
11 匿名
11 野本惠子(田口)
12 熊倉勝男
12 中村悦子(柿沼)
12 中山美子(小池)
13 上野和雄
13 福田ゆき子(柿沼)
13 若林克行
16 川島慶一
16 小古山忠由
16 平井明美(鈴木)
17 大熊肇
17 小田垣恵美
17 光野幸子(大橋)
17 髙橋敏江(福田)
18 矢部和美
19 小田順子(志水)
19 田村弘美(須田)
19 中治一郎
19 根本淳江(筑井)
20 會田康範
20 久保田百合子(田熊)
20 清水かおり(笹田)
21 髙橋由典
22 斉藤由起子(上岡)
22 鈴木俊江(堀井)
23 石田正彦
23 塚田安紀子
23 平山光広
24 石井登
24 菊元靖

二万円
24 古後昌彦
24 中島正博
24 西垣陽子(滝田)
24 沼尻智克
24 船田圭子(神永)
24 間嶋庸子
24 横地夏彦
一万円
5 鈴木恵子(山田)
9 中村雅一
16 渡辺好章
23 佐藤亨
六千円
18 田中悦子(小野寺)
四千円
22 梶山恵美子
22 蛭川寧世(斎藤)
二千円
4 楠野祇晴
5 青山憲雄
6 鈴木信男
7 須田けい子
8 小林守雄
9 柏崎肇
15 新井彰
15 飯塚俊幸
15 梅沢静子
16 立石佐智子
16 増田和浩
17 新井登代子(中山)
17 髙野美江子(谷中)
17 藤井昭広
18 佐久間貴美子(元松)
18 森茂樹
18 吉田明実(石田)
20 新井義朗
20 遠藤記代子(中野)
21 髙橋輝明
22 阿久津豊
22 栗原英雄
22 髙山英子(中澤)
22 宮田泰夫
24 斉藤喜美(佐山)
24 土倉妙子
24 山口淑子

◎ 住所変更のお願い ◎

「むらさき」を出来るだけ多くの同窓生の皆様へお届けしたいと思っております。お手数でも転居された方はご連絡くださいますようお願い申し上げます。
また、同窓生情報も是非お寄せください。

◎ 補助金のお知らせ ◎

クラス会には２０,０００円の補助をしております。
還暦の会への補助もございます。
いずれも事前申請が必要です。先ずはご連絡を！

※住所変更は國學院大學栃木高等学校ホームページから出来ます。
http://www.kokugakuintochigi.ac.jp（同窓会バナー）
または下記へご連絡ください。
TEL　0282-22-5511（学校）　FAX　0282-22-2822
MAIL　yamanaka@kokugakuintochigi.ac.jp　総務　山中

平成30年度　中学校・高等学校　生徒募集について

中学・高校同時開催

國學院祭　文化祭：9月 9日（土）・9月10日（日）　場所／本校キャンパス
体育祭：9月16日（土）　場所／本校キャンパス

文化祭の２日間、学校生活や入試についての相談も受け付けます。

高　校

学力診断テスト
國栃チャレンジ　10月14日(土)　場所 / 本校キャンパス・学園教育センター(栃木駅前)
入試の雰囲気を体験しながら、学力到達度を判定します。
【判定】①現在の学力(得点・順位等)　②本校の各コースへの合格可能性
【受験型】５教科型または３教科型選択　【受験料】無料

入試説明・相談会　9月24日(日)　10月22日(日)　10月29日(日)　時間 / 9:30～
11月 3日(金・祝)　11月11日(土)　11月23日(木・祝)　場所 / 本校キャンパス
12月 3日(日)　時間 / 9:30～　場所 /学園教育センター(栃木駅前)

入学試験日　1月6日(土)　単願　1月7日(日)　併願　1月27日(土)　単願・併願

FOR YOUR FUTURE
未来を拓く

中 学 校

入試説明・相談会　9月3日(日)　9月24日(日)　10月22日(日)　11月3日(金・祝)
場所 / 本校キャンパス　時間 / 10:00～

入学試験日　第１回入試　11月19日(日)　自己推薦入試(単願)　一般入試(単願・併願)
第２回入試　12月10日(日)　自己推薦入試(単願)　一般入試(単願・併願)　英語入試(単願・併願)
第３回入試　1月21日(日)　自己推薦入試(単願)　一般入試(単願・併願)
場所 / 学園教育センター(栃木駅前)
※　一般入試・英語入試の成績が特に優れている者に奨学生の資格が付与されます。

Challenge!